



県議会とちぎ

第89号
2009年2月1日
編集・発行 栃木県議会
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-3772
FAX 028-623-3755
Eメール gikai@pref.tochigi.lg.jp
HPアドレス http://www.pref.tochigi.lg.jp/assembly/

第296回定例会(平成20年12月)

予算特別委員会で緊急経済対策等を集中審議

第296回県議会定例会は、12月10日から25日まで、16日間の会期で開かれました。開会日には福田知事が提出議案の説明等を行い、12日、15日及び16日には、上程議案並びに県政全般に関する質疑・質問が行われました。

また、18日には、県が取り組む緊急経済対策や塩谷総合病院を運営する栃木県厚生農業協同組合連合会への運転資金の貸付に関して議論を深めるため、予算特別委員会総括質疑において集中審議が実施され、これに先立ち、参考人の意見聴取も行われました。

本定例会では、知事から提出があった69議案(予算1件、条例21件、その他47件)と議員から提出があった6議案(条例2件、意見書4件)が原案どおり可決され、請願・陳情については、9件のうち7件が継続審査、2件が不採択となりました。



再選後初の県議会で所信表明等を行う福田知事

可決された主な議案

- 平成20年度栃木県一般会計補正予算
- 栃木県統計調査条例の制定について
- 北那須水道に係る水道水の料金に関する条例の一部改正について
- 市町の廃置分合について(真岡市、芳賀郡二宮町)
- 栃木県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

可決された意見書

- 地域経済活性化対策の充実強化を求める意見書
- 消費者行政の取組強化を求める意見書
- 青少年を性犯罪等から守るための環境整備を求める意見書
- 中山間地域等直接支払制度の継続を求める意見書

第296回 定例会の日程

月	日	曜日	議事日程
12月	10日	水	本会議(開会・議案上程)
	11日	木	議案調査
	12日	金	本会議(質疑・質問)
	15日	月	//
	16日	火	//
	17日	水	議案調査
	18日	木	予算特別委員会(総括質疑)
	19日	金	常任委員会
	22日	月	特別委員会・予算特別委員会(採決)
	24日	水	議会運営委員会
	25日	木	本会議(採決・閉会)

第296回定例会 代表・一般質問者及び質問項目

<p>七 本県の文化振興</p> <p>六 広域連携による地域振興</p> <p>五 農業水利施設の適正管理</p> <p>四 教育問題(学力テストを中心に)</p> <p>三 救急医療体制の充実</p> <p>二 足利銀行問題</p> <p>一 道州制</p>	<p>五 四 三 二 一</p> <p>県財政</p> <p>平成二十年度の収支見直し 平成二十一年度予算編成 今後の県財政</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの確立</p> <p>県による率先垂範</p> <p>子育て支援</p> <p>心の健康</p> <p>新型インフルエンザ対策</p> <p>ガイドラインの策定</p> <p>模擬訓練の実施</p> <p>ゲリラ豪雨等への対策</p> <p>教員による犯罪</p>	<p>一 二 三 四 五</p> <p>知事の政治姿勢</p> <p>県内経済の活性化対策</p> <p>知事の公約の実現</p> <p>教育の振興</p> <p>医療と福祉の充実</p> <p>医療提供体制の充実</p> <p>障害者福祉の充実</p> <p>とちぎ環境立県戦略の策定</p> <p>農産物の産地ブランド構築</p> <p>財政健全化対策の推進</p> <p>職員の意識改革</p> <p>霞ヶ浦導水事業への対応</p>
<p>六 五 四 三 二 一</p> <p>中山間地域の振興</p> <p>豊かで美しい田園風景の保存継承</p> <p>地域通貨を活かした中山間地域の活性化</p> <p>地球温暖化対策</p> <p>本県における地球温暖化対策の推進</p> <p>とちぎの元気な森づくり県民税事業における間伐材の利用</p> <p>PCB廃棄物の適正な処理</p> <p>と安全性の確保</p> <p>中小零細企業への支援策</p> <p>芳賀地域への取組</p> <p>国道二二四号の整備</p> <p>国道二二四号の整備</p> <p>県道宇都宮茂木線の整備</p>	<p>一 二 三 四 五 六</p> <p>財政健全化対策</p> <p>市町への権限移譲に対する人的支援</p> <p>過疎市町の振興</p> <p>観光立県の推進</p> <p>企業との協働による森づくり</p> <p>耕作放棄地対策</p> <p>日光杉並木</p> <p>国道二一九号水無バイパスの整備</p> <p>日光杉並木の保護と活用</p>	<p>一 二 三 四 五 六</p> <p>マニフェスト実行に当たつての「選択と集中」</p> <p>県内の市町格差問題への対応</p> <p>北関東自動車道の一部開通に伴う企業誘致と観光振興の推進</p> <p>高齢者の社会参加を通じた生きがいづくり</p> <p>元気で活力のある「とちぎの農業・農村」の実現</p> <p>県土整備行政</p> <p>道路整備財源の確保</p> <p>県北地域の国道四号の整備</p> <p>土砂災害対策</p>
<p>六 五 四 三 二 一</p> <p>救急医療体制整備(ドクターヘリ)</p> <p>総合スポーツゾーンの整備</p> <p>生活排水処理施設の整備</p> <p>県道桐生岩舟線の道路環境整備</p> <p>知事の政治姿勢及び県政経営</p>	<p>一 二 三 四 五 六 七 八</p> <p>那須地域の活性化に向けた取組</p> <p>日光国立公園(那須の森(仮称))の整備</p> <p>那須地域の交通対策</p> <p>那須地域における観光の振興</p> <p>とちぎの多彩な農業の展開</p> <p>農村レストランの活性化</p> <p>飼料用米・飼料用稲の生産拡大</p> <p>とちぎの子どもを守り育てる取組</p> <p>子育て家庭への優待サービス事業</p> <p>特別支援学校における職業教育の推進</p> <p>企業と連携した家庭教育の支援</p>	<p>一 二 三 四 五 六 七 八</p> <p>総合スポーツゾーンの整備</p> <p>こども医療費助成制度</p> <p>今後の首都圏農業の推進</p> <p>スマートインターチェンジ</p> <p>地域警察官の街頭活動の強化</p> <p>消防の広域化</p> <p>救急医療体制の整備</p> <p>農産物の試験研究の充実</p>
<p>■県議会広報テレビ番組のお知らせ■</p> <p>「県議会へようこそ」(とちぎテレビ)を通じて、県議会の動きなどをお届けしています。番組内容は次のとおりです。ぜひご覧ください。</p> <p>○「委員会からこんにちは」</p> <p>第7回 県議会活動を振り返って</p> <p>本放送 2月21日(土) 午前10時 5分~10時20分</p> <p>再放送 2月23日(月) 午後 7時15分~ 7時30分</p>	<p>一 二 三 四 五 六 七 八</p> <p>栃木S.C.等プロスポーツチームの支援</p> <p>広域連携の推進</p> <p>市町村重視の県政のあり方</p> <p>専門分野における民間活力の導入</p> <p>「職員の気づき」による改革の推進</p> <p>県教育委員会の役割とあり方</p> <p>国語教育への取組</p> <p>優秀な教員の確保</p>	<p>一 二 三 四 五 六 七 八</p> <p>とちぎの未来づくり</p> <p>高速道路の有効活用による地域振興</p> <p>ハイウェイイオアシス</p> <p>羽生田産業団地</p> <p>雇用対策</p> <p>企業マツチングバンク制度</p> <p>とちぎ未来クラブ</p> <p>安全安心な地域づくり</p> <p>ドクターヘリの導入</p> <p>子どもが安心して暮らせる環境づくり</p> <p>県土防災センターを活用した防災対策</p> <p>県道宇都宮茂木線の整備</p>

注()は所属会派 (自民党)栃木県議会自由民主党議員会 (県民ネット)県民ネット21 (無所属県民)無所属県民クラブ ※は代表質問裏面の「本会議質疑・質問から」に掲載している質問項目については、太字で表示してあります。

第296回定例会 本会議質疑・質問から

主な質疑・質問の要旨と、これに対する知事などの執行部の答弁の要旨は次のとおりです。

道州制

問 本県では、歳入の確保とともに事務事業全体の見直しを進めているが、その努力も限界にきている。そこで、国と地方の役割分担を見つめ直し、今後の地域の繁栄のため、権限とともに税源を伴った「地域主権型」道州制の導入は喫緊の課題と考えるが、知事の考えを聞きたい。

答 道州制の導入については、一貫して賛成してきたが、その理解促進のため、国民的な議論の喚起が必要と考える。移行等に当たっては、地方が主体的に進めていく必要がある。そのため、市町村や経済界等とも意見交換を重ねるとともに、国に対し、地方の立場から積極的に意見を述べたいと考える。

総合スポーツゾーンの整備

問 総合スポーツゾーンの整備を今後どう進めるのか、今までの検討状況と併せて知事に聞きたい。

答 今年度は、全体構想策定の前提となる総合スポーツゾーン周辺の交通量調査や、体育館及び陸上競技場兼サ

ッカースタジアムの規模・機能を盛り込んだ基本構想の策定を進めている。今後は、これらの調査結果や構想の内容等を基に、総合スポーツゾーンの全体構想を策定する中で、施設配置や交通体系のあり方等の検討を進めるとともに、県議会で検討中の民間活力を活用した整備手法も参考にしながら、厳しい財政状況における効果的・効率的な整備を十分検討していく。

ワーク・ライフ・バランス

問 現在の経済状況では、雇用対策や経済対策に全力で取り組む必要があるが、一方で、仕事と生活が調和した社会づくりに取り組まなければ、知事が常々話している県民益の最大化につながらない。考える。知事が新たに公約に加えたワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の認識について、知事に聞きたい。

答 ワーク・ライフ・バランスの確立は、一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、同時に、家庭や地域生活においても、多様な生き方を選択・実現できる社会を築くことと考えている。今後とも国や企業等と連携し、すべての県民が生き生きと働き、充実した時間を過ごせる社会の実現に努めていく。

介護施設の整備

問 県は、「はつらつプラン21(三期計画)」の推進により、介護施設の入所待機者の解消を図るとしているが、現在の介護施設の整備状況及び四期計画での整備計画について聞きたい。

答 特別養護老人ホームとグループホームについては、平成二十年六月までに、新たに約千五百床が整備されており、計画の終期である今年度末までに、更に約五百床が整備される予定である。さらに、四期計画では、高齢者の今後三年間の増加等も見込み、約千七百床整備するとともに、一人暮らしや高齢者夫婦のみ世帯に適切な介護付有料老人ホーム等の設置を促進し、高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていく。

ドクターヘリの導入

問 知事は、マニフェストに「ドクターヘリの導入による救急医療の充実」を掲げているが、県政の最優先課題である救急医療体制の充実という観点から、ドクターヘリの導入に対する考えを聞きたい。

答 ドクターヘリの必要性等については、県救急医療運営協議会の病院前救護体制検討部会から、本県の救急医療体制の充実のため、導入について積極的に対応すべきとの意見をもらっている。県民誰もが等しく高度な救命医療を受けられる体制整備を図る上で、ドクターヘリの機動性・迅速性は大きいと有効と考える。今後、同部会の意見を踏まえ積極的に検討を進めていく。

中小零細企業への支援策

問 米国発の金融危機の影響を受けて本県経済が極めて厳しい状況にあることを機に、県の産業政策にあつても中小零細企業に十分に目配りして支援すべきと思うが、県の考えを聞きたい。

答 県では、「小規模企業振興融資」の限度額の引上げや借換資金の利用要件の緩和

元気で活力のある「とちぎの農業・農村」の実現

問 農業経営は危機的状況にあると言っても過言ではない。農業者が不安になり自信を失いかけていく中こそ、県農政のしつかりしたリーダーシップが重要である。そこで、本県農業が活力を取り戻すことができる農政を今後どのように進めていくか聞きたい。

答 経営の規模拡大や農地の面的集積を促進し、認定農業者や集落営農組織の育成を図るとともに、意欲的な農業者の取組を支援する。また、燃油価格の高騰など緊急的な課題に対しても、園芸用省エネ設備の導入支援、肥料低減に向けた技術指導、飼料高騰に関する経営相談等に積極的に取り組む。元気で活力ある農業・農村の実現に努めていく。

国道一九号水無バイパスの整備

問 本県の宝・シンボルである杉並木を確実に次の世代に引き継ぐために、国道一九号水無バイパスの整備について中長期的なビジョンを提示すべきと思うが、県の考えを聞きたい。

答 日光杉並木を将来にわたって保護し、活用していくためには、杉並木内の通過車両

那須地域の交通対策

問 那須地域では、交通の集中や駐車場の不足等により、特に行楽シーズンに深刻な交通渋滞が発生している。那須の豊かな自然を保全・活用し、更なる活性化につなげるための交通対策について知事に聞きたい。

答 那須地域は、日光国立公園内の山岳地帯であり、交通網整備に制約条件が多いので、ソフト施策による渋滞対策が非常に有効である。このため、県では、昨年七月、那須町や地元関係者等による「那須高原地域活性化推進協議会」を設置し、那須高原有料道路周辺でのパーク・アンド・バスライドの社会実験の実施に向けて、今後、具体的な準備を進めていく。

教育の振興

問 次の時代を切りひらく人材の養成が何よりも重要であり、現場の先生方や子どもたちが意欲を持って取り組める学校を創るとともに、学力だけではない人間性豊かな人材を育てるような本県独自の教育を推進する必要があると考えるが、知事の考えを聞きたい。

答 各学校が自主性と自立性を高め、熱意と意欲にあふれる現場の教職員が生き生きと教育に専念できるように、教育委員会には、栃木ならではの教育行政を推進し、より積極的に施策を展開して、より良いと考えている。今後とも、郷土に自信と誇りを持ち、本県はもとより、国際社会においても活躍できるような人づくりに努めていく。

県教育委員会の役割とあり方

問 県と市町の教育長が意見交換をする機会が、少ないと思う。教育の重要性が叫ばれている現在、市町の教育長と本格的に意見交換をする場として、知事が市長、町長と開催している政策会議のような場を設けることも必要ではないかと考えるが、教育長の見解を聞きたい。

答 今年度、新たに市町教育長代表との意見交換を行い、県と市町教育委員会のそれぞれが担っている役割や協働して取り組むべきことがらについて議論を始めた。今後とも、様々な場を通して、市町教育委員会との連携を一層強化し、本県教育の目指す方向を共有の上、一体となって栃木の子どもの育成に努めていく。

第297回 県議会定例会の開催予定

第297回定例会は、下記の日程で開催する予定です。本会議(質疑・質問)は、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、インターネットで、予算特別委員会(総括質疑)は、とちぎテレビで生中継されます。

月 日	内 容	時 間
2月20日(金)	本会議(開会・議案上程)	コンサート終了後
23日(月)	議案調査	
24日(火)	議案調査	
25日(水)	議案調査	
26日(木)	本会議(質疑・質問)	午前10時
27日(金)	議案調査	
3月 2日(月)	議案調査	
3日(火)	議案調査	
4日(水)	議案調査	
5日(木)	議案調査	
6日(金)	予算特別委員会(総括質疑)	午前10時
9日(月)	議案調査	
10日(火)	常任委員会	
11日(水)	予算特別委員会(採決)	午後2時
12日(木)	議会運営委員会	午前11時
13日(金)	本会議(採決)	午前10時
16日(月)	常任委員会	
17日(火)	議案調査	
18日(水)	特別委員会	
19日(木)	議案調査	
23日(月)	予算特別委員会(採決)	午後2時
24日(火)	議会運営委員会	午後3時
25日(水)	本会議(採決・閉会)	午前10時

開催予定の詳細は、県議会議務局議事課(TEL 028-623-3761)までお問い合わせください。なお、この日程は変更されることがありますので、予めご了承ください。



昨年のコンサートの様子

議会コンサートのお知らせ
二月二十日(次回定例会開会日)午前10時から、議事堂一階ホールで栃木県交響楽団と、子どもミュージカルドリーミングによる演奏会が行われますので、ぜひご来場ください。詳しくは議会議務局総務課(電話028-623-3754)までお問い合わせください。

議会のつらね
◆県議会議員補欠選挙の結果
平成二十年十一月七日に告示された栃木県議会議員(鹿沼市・西方町選挙区)補欠選挙において、松井正一氏が当選されました。※()内は所属する常任委員会



鹿沼市・西方町選挙区
松井 正一
(県政経営委員会)